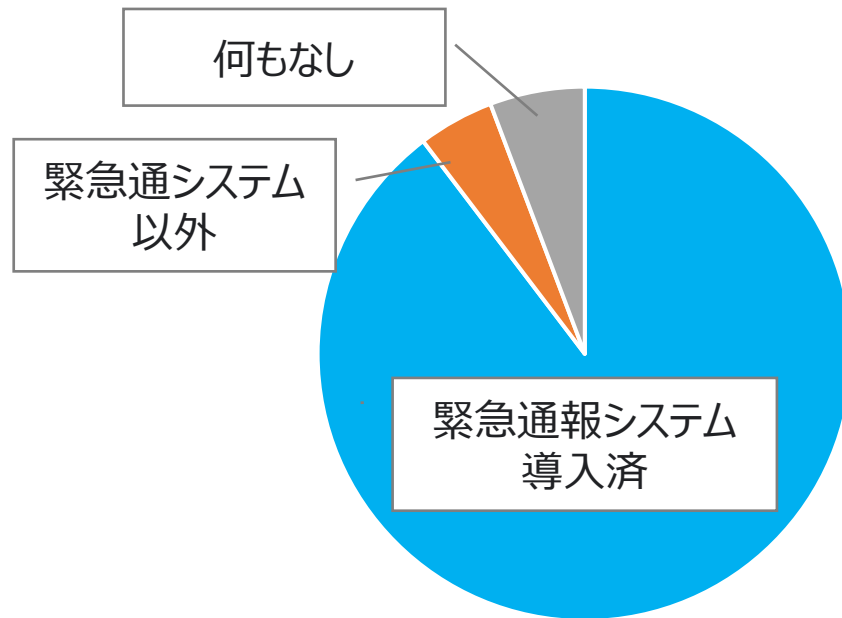


高齢者みまもりサービスについて

ソフトバンク株式会社
CSR本部

自治体の対応（緊急通報システム）

1988年の厚生省（当時）による補助金制度をきっかけとして全国の自治体に普及
2001年では9割以上の自治体に普及している（総務省レポート）



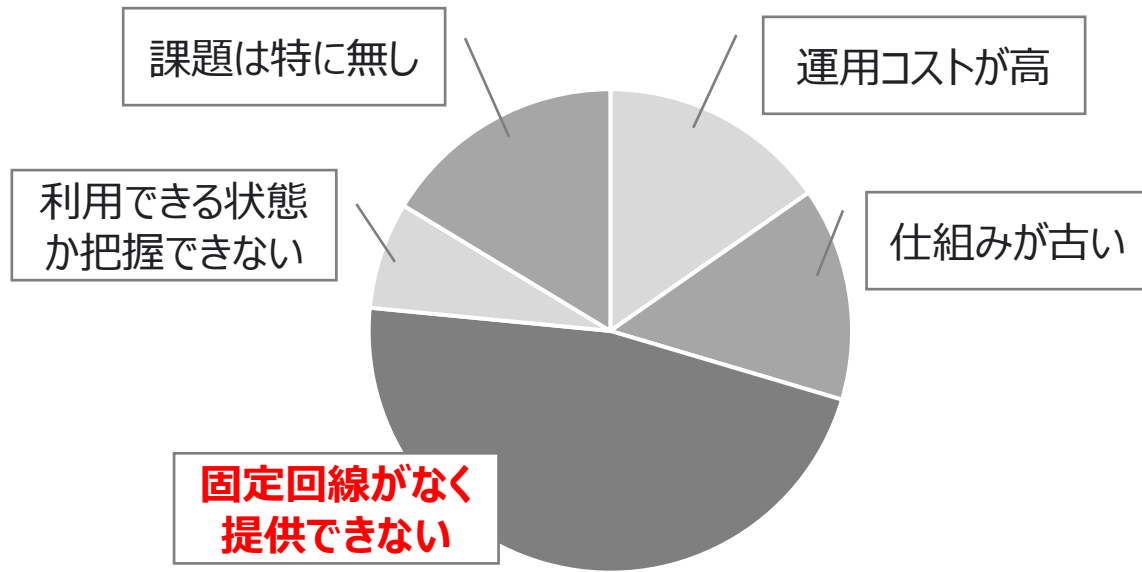
（自治体アンケート結果）



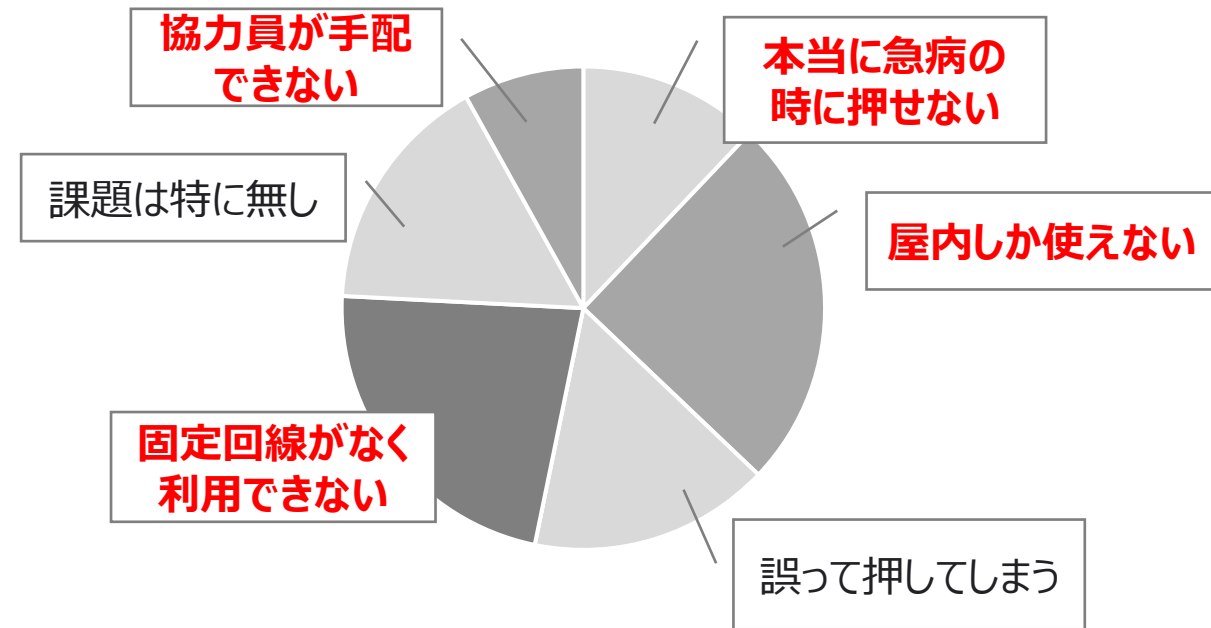
自治体アンケート (n=90自治体)

現状の緊急通報システムでは様々な課題を抱えている

【自治体側の課題】

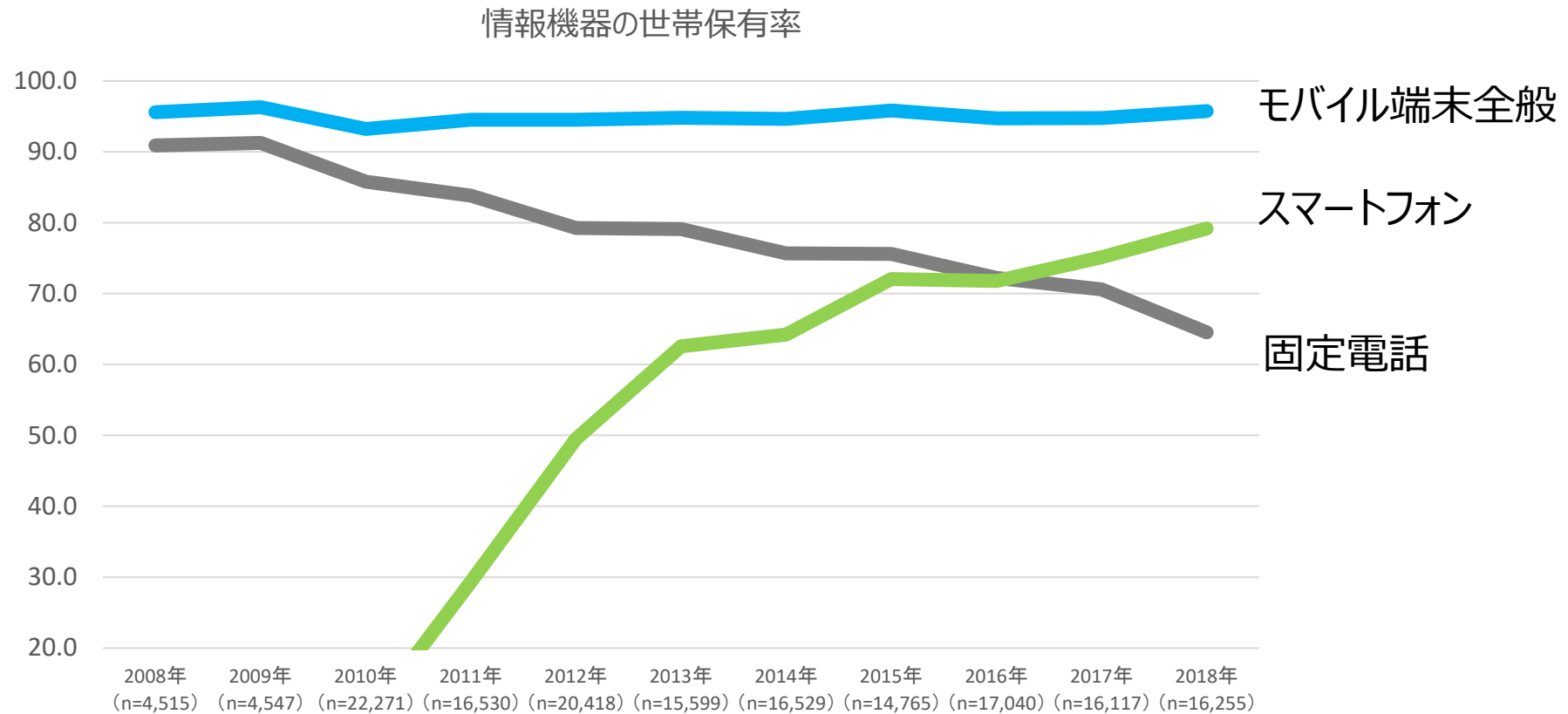


【住民からの不満・要望】



固定電話回線の状況

固定電話回線の世帯保有率は、直近10年で**減少し約60%**、今後も減少傾向
 反して、スマホを含むモバイル端末は**約95%**と増加。通信手段は固定から移動体通信へシフト



高齢者みまもりシステム

高齢者みまもりシステム

2つのIoT機器により、一人暮らしのお年寄りの安心をサポート

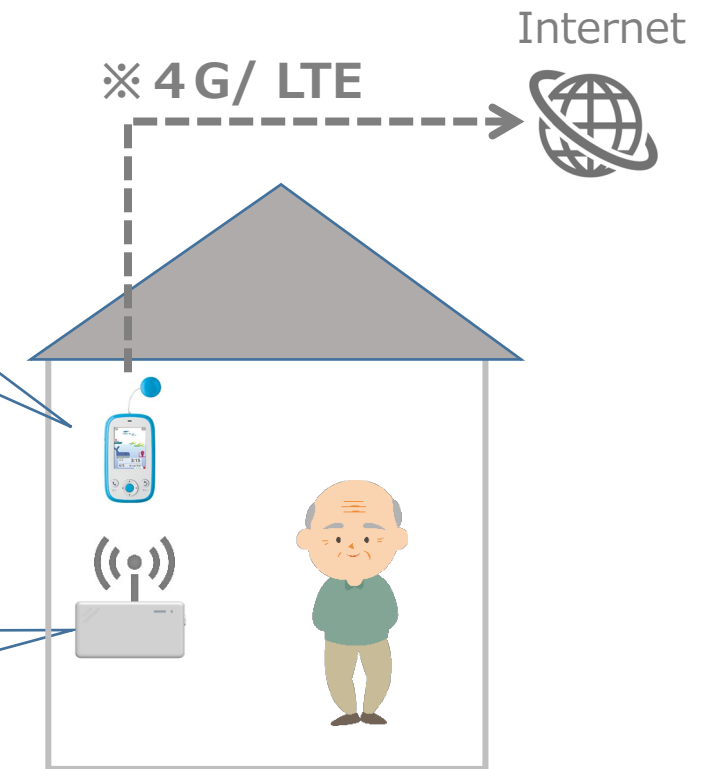
緊急通報システム

急病時などの通報や
健康に関する相談を対応



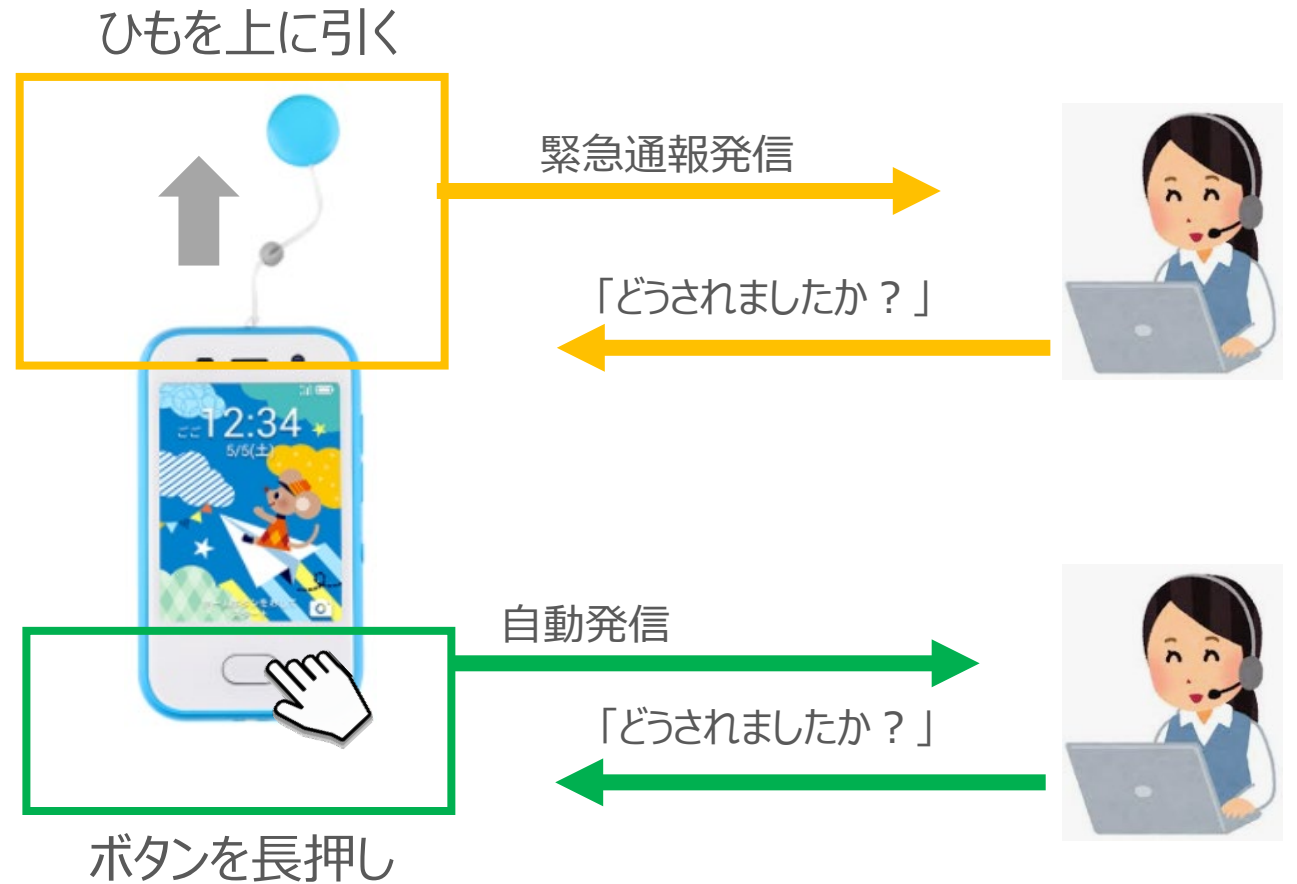
みまもりセンサー

万が一をセンサーで検知

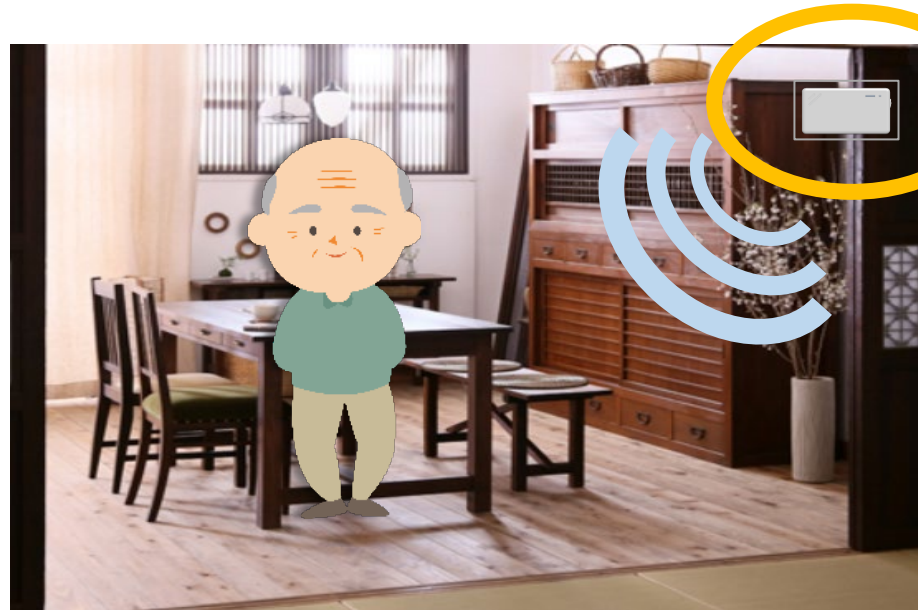


緊急通報システム

- 市販の「キッズフォン」を使用
- 緊急時の通報装置機能搭載（紐を引く）
- 事前登録先（センターなど）との通話可能
- 固定電話やインターネット回線不要
- 外出時にも利用可能・位置情報も特定可能



みまもりセンサーとは



センサーが人の動きを認識
万が一、一定の期間反応が無いと

「どうされましたか？」



利用者様の無事を確認

サイズ	100mm(H) X 56.8mm(W) X 25mm(T)
通信方式	LTE Cat.M1 (SIMCOM SIM7080)
通信可能エリア	SoftBank LTE通信エリア
センサー	人感センサー、温湿度センサー
表示	LEDによる段階的表示
電源	USB micro-B



高齢者みまもりサポート（緊急時）

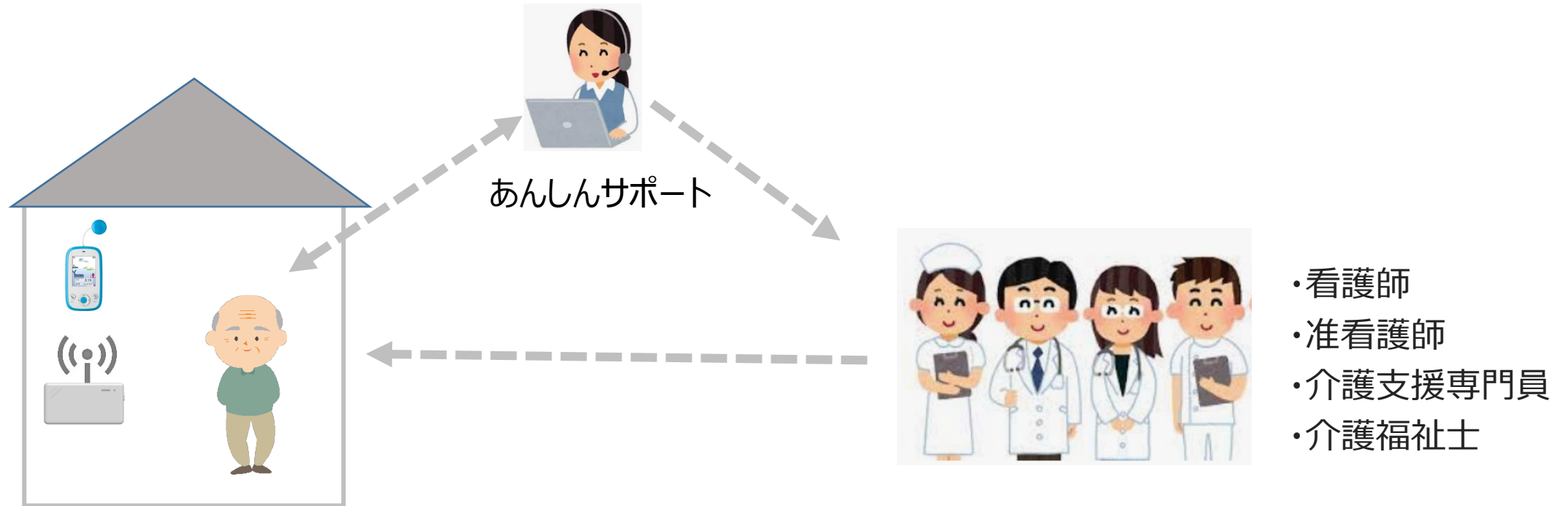
- ① センサーにて異常を検知した際、サービス事業者から電話にて状況を確認
- ② 電話にて確認出来ない場合、かけつけ事業者がお宅の状況を確認
- ③ 状況に応じて119（緊急通報）へ通報



高齢者みまもりサポート（平常時）

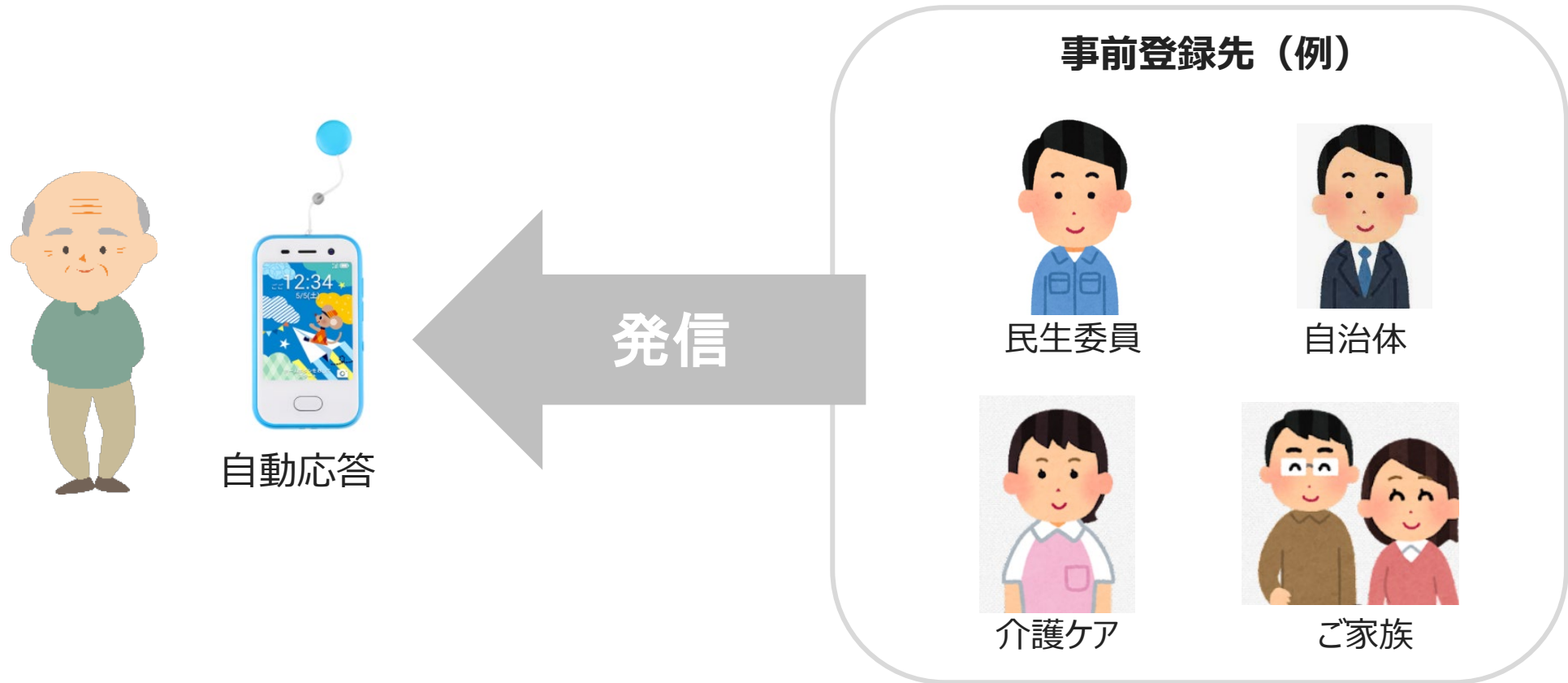
① 24時間の相談窓口対応

資格をもつ専門スタッフが高齢者のご相談をお受け致します



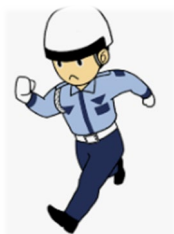
音声通話サービス

- 在宅時・外出時問わず、必要に応じて高齢者へいつでも連絡を取ることが可能
- キッズフォン側に電話番号を登録した相手のみ通話可能



提供価格

かけつけ対応



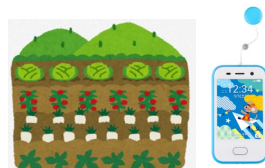
かけつけのプロが
24時間365日対応

緊急通報



急病時をサポート

屋外利用OK



持ち歩き可能

センサー対応



万が一の状況を検知

健康相談



保健師・看護師が
24時間365日対応

GPS対応



通報場所を特定

社会貢献事業として
低価格にてご提供

【月額】
2500円／契約

提供サービスのバリエーション

自治体様のニーズに合わせて、提供スタイルはカスタマイズ可能

パターン1	パターン2	パターン3
 A blue smartphone with a colorful screen and a grey tablet, separated by a plus sign.	 A blue smartphone with a colorful screen.	 A grey tablet.
24時間相談窓口／かけつけサービス		
2,500円／月	2,000円／月	1,500円／月

実証実験（PoC）のご案内

今後、新規サービス導入を検討頂く上での、実証実験をご提案致します

通信エリアは
大丈夫だろうか



ご担当者様

高齢者に
使えるだろうか

使ってみて実際に確認

- ・緊急時の操作・フロー
- ・提供サービス
- ・IoT機器／ネットワーク品質
- ・その他、気になるところ

実証実験（PoC）のご案内

項目	内容
期間	約 3ヵ月
費用	通信費・サービス利用費・IoT機器代など すべて無料 （SB負担）
実施人数	5～10名 程度
対象者	65歳以上の 独居高齢者

現在、複数の自治体様にて実施中。または具体的な検討中

ご清聴有難うございました